第7回（7月16日）

補正予算

▽平成21年度一般会計補正予算（第4号）……賛成多数可決

歳入歳出予算に2億8百58万3千円を追加し、予算総額を、34億1千1百14万3千円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

国庫支出金　1億8千22万円

道支出金　1百32万円

繰入金　2千7百4万3千円

〔歳出〕

総務費　1億2千8百27万円

衛生費　3千万円

農林水産業費　1百32万円

消防費　3千4百57万7千円

教育費　1千4百41万6千円

□平成21年度奥尻町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）……原案可決

奥尻地区と青苗地区に濁度計設置工事のため、工事請負費として3千万円を追加し、予算総額を8千7百12万円としました。

全員協議会

7月9日、国の補正予算による臨時交付金のメニューについて、町側から説明がされるということで、全員協議会が議長により招集されました。

町の説明によると、船舶給油施設整備事業や水道施設事業、学校施設耐震診断事業など計13事業について、総額2億7百24万3千円の事業予算で計画をたて、6月下旬に国へ申請したということでした。

産業建設常任委員会

4月14日と5月11日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

（4月14日）

【水産関係】

青苗漁港内で養殖しているあわびの大量へい死について町から報告がありました。対応として、町としては、あわび養殖部会へ水産振興策の措置を講ずるよう検討中であるとの説明がありました。それに対して委員からは、開発などとのヒアリングの際こうしたことを想定した話合いや原因の究明が必要ではないか、あるいはまた漁協としての対応も必要であるとの意見が出されました。町としては、へい死問題について、工事が原因かどうか因果関係はわからないため補償ということにはならず、また開発も施設移動の際の資材提供など積極的に協力してくれていると回答がありました。さらに今後漁協に対する申し入れもしていくとの説明がありました。

（5月11日）

【水産関係】

5月11日の産業建設常任委員会では、各船揚場（野名前、稲穂、勘太浜、宮津、東風泊、奥尻、松江、青苗、貝取澗）の現状を行政視察し、漁業者から要望事項を聞き取りしました。

行政視察後、議会事務局において意見交換会を開催し、優先順位を判断する上で、町財政、補助事業を視野に入れ、担当課で精査するよう申し入れしました。

総務文教常任委員会

5月28日開会された同委員会の概要についてお知らせします。

【住民課関係】

住民課から平成21年度5月26日までの町民税、固定資産税、国保税などの収納実態について報告がされました。

【総務課関係】

総務課から、6月定例会に奥尻町課設置条例の改正案を上程する予定ということで、機構改革案について説明がありました。

それによると、新たに地域政策課という課を設置し

これまでの財政係、町勢振興、住民生活、商工業及び労政、観光に関わる事務を所管とする案でした。

また、これまで企業管理課の一グループである発電業務の事務を独立させて、発電課を新たに設置する案の説明がありました。

環境センターから、今後のごみ焼却施設運転管理委託業務に係わる保守点検委託料について、今年度は5千1百万円ほどかかるとの説明がありました。

【教育委員会関係】

津波館に係る修繕料と将来かかるであろう3D映像機器のことや、学校建築耐震診断実施に係ること、全国離島交流中学生野球大会への参加、吹奏楽など学校行事における遠征費の全額町負担などについて説明がありました。

町村議会議長会定期総会

6月4日（木）午後1時30分から、ポールスター札幌2階ホールにおいて、北海道町村議会議長会（会長川股　博）の定期総会が開催され、当議会からは麓議長が出席しました。

また、このたび北海道町村議会議長会から自治功労者表彰となったのは、当議会では25年以上の議員在職に該当する、伊藤副議長（換算年を含む）と制野議員の二人でした。二人には6月定例議会の開会前に、麓議長から表彰状が伝達されました。

表彰状を伝達される伊藤副議長

表彰状を伝達される制野議員

議員研修会

6月30日に札幌で北海道町村議会議員研修会が開かれ、奥尻町議会議員8名が参加し、山梨学院大学の江藤俊昭教授の『住民自治時代の議会の役割と課題』、読売新聞特別編集委員橋本五郎氏の『どうなる日本の政治と経済』と題し講演が行われました。

▼江藤教授は、栗山町議会などを例に挙げ、議決事件の追加や専門的知見の活用など、現行の制度で議会ができることを行い、住民参加を目指していくべきだと話されました。

▼橋本氏は、現在の政治状況について、まさしく風雲急を告げる事態であるとし自由民主党は与党として将来像をきちんと示す責任があると述べました。

また、孤独で貧しい人を作り出す環境や自殺者を多く出す社会状況はやはり政治に責任があるとして、庶民の心がわかる政治を行う必要があると話されました。